

(別紙)

「武雄市図書館・歴史資料館」選定の経緯についての質問書

Q 1 インテリア性を重視した書架はバリアフリーの観点から見て受賞対象の基準を満たしているとお考えでしょうか？

(例) 囲み配置により車いす利用者がスムーズに通行できない

幼児向け絵本が大人でも手の届かない飾り棚に排架されている

係員が巨大脚立での出し入れを余儀なくされる 4 mの高層書架

A 1

Q 2 日本十進分類法に代わり、直感的に本を発見できる新たな分類方法とありますがどのように検証されましたか？

A 2

Q 3 公共図書館でのRFID採用事例は武雄市図書館よりも先行事例がありますが、画期的な変革事項とお考えでしょうか？

A 3

Q 4 Tカードを貸出カードとして使用することに関しては、プライバシーの観点から専門家より否定的な意見もありますが、そのような懸念事項は検討されましたでしょうか？

A 4

Q 5 4 mの高層書架への本の出し入れは係員によって行われますが、労働災害防止の観点から見て優れたデザインであると言えるとお考えでしょうか？

A 5

Q 6 リニューアル工事において消防法上の不備が後から指摘され2階キャットウォークの一部が一般来館者立ち入り禁止になる、スプリンクラーをオープン後に設置するなどの事態になっていますが受賞対象としてふさわしいとお考えでしょうか？

A 6

以上の内容について、2013年10月25日（金）を目処に同封のレターパックにてご返送いただきますようよろしくお願いいたします。